

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	メイキング基礎実習 I		授業のねらい  ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。	
担当教員	斎藤、森、赤澤			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	312時間	単位数	8単位	到達目標  新たな加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2019.4.1～2020.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝斎藤、森(ジュエリーデザイナー)			
授業の計画展開	メイキング基礎実習 I-1(平打ちリング制作)			
	内容	平打ちリングの制作を通し、リングの基本的な制作プロセスと地金加工工具の取扱い方法を学ぶ		
	メイキング基礎実習 I-2(甲丸リング)			
	内容	甲丸リングの制作を通し、リングの基本的な制作プロセスを学ぶ		
	メイキング基礎実習 I-3(WAXリング原型)			
	内容	ワックス素材を使用したリングの基本的な制作プロセスとWAX加工工具の取り扱い方法を学ぶ		
	メイキング基礎実習 I-4(ソリテールリング/ペンダント)			
内容	オーバルカボションの石を使用した覆輪(フクリン)石座のソリテールリングとラウンドCZを使用し4本爪留め石座のペンダントトップを制作			
メイキング基礎実習 I-5(WAX模刻)				
内容	モチーフの形を観察し、実寸通りの形に削りだすことで造形感覚を学ぶ			
メイキング基礎実習 I-6(ロケットペンダント)				
内容	ヒンジ金具の構造やパイプ、箱形状といった基礎的形態を用いたロケットペンダントの制作			
履修上の注意事項	基本的な工具の使用方法、用途を理解し、それぞれの課題毎に習得する基礎技法を身に付けたうえで進めていくことが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	メイキング造形実習 I			授業のねらい  ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。また、各自でデザインをしながら、技法を使った制作を進める。リサーチプロジェクトでは、ターゲットに向けたジュエリー制作の為のリサーチ方法を習得していく。
担当教員	斎藤、森、赤澤			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	432時間	単位数	13単位	到達目標  新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2019.4.1～2020.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝斎藤、森(ジュエリーデザイナー)			
授業の計画展開	メイキング造形実習 I-1(ブローチ) 内容 透かした銀板をカシメ技法にて重ね合わせたオーバーレイ技法と、既製のブローチ金具を用いた制作 メイキング造形実習 I-2(立体造形研究) 内容 指定のテーマの立体造形の研究を行い、それをもとに与えられた素材でジュエリーとしての立体物制作 メイキング造形実習 I-3(ペンダント) 内容 粘土等で模型、WAXにて原型を制作することで立体造形を学ぶ メイキング造形実習 I-4(リサーチプロジェクト) 内容 グループワークでターゲットをリサーチし、そのターゲットに向けたジュエリー制作 メイキング造形実習 I-5(ジュエリーコンペティション) 内容 一年間で学んだ技術や技法を使ったオリジナルデザインリング制作			
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	デザイン基礎実習 I			授業のねらい ジュエリーデザインに必要な基本的なレンダリング、製図読解を習得していく。
担当教員	北山			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	152時間	単位数	5単位	到達目標 ジュエリーデザインに必要な基本的な知識、方法を学び、確実に仕上げることを目標とする。
開講期間	2018.4.1～2019.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	デザイン基礎実習 I -1(製図の基礎) 内容 dr1スケッチ/dr2立方体/dr3円柱 dr4立体図から図面/dr5図面読解  デザイン基礎実習 I -2(製図の基礎) 内容 dr6質感表現1/dr7平打ちリング作図 dr8甲丸リング作図  デザイン基礎実習 I -3(製図の基礎) 内容 dr09リング製図 dr10リングの構造/dr11石付きリングの構造の理解  デザイン基礎実習 I -4製図の基礎) 内容 dr10リングの構造/dr11石付きリングの構造の理解			
履修上の注意事項	基礎的な描画技法の習得と適切な道具の使用が出来ていることが重要である			
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	デザイン造形実習1			授業のねらい アイデア展開からPCスキルまでを包括的に習得していく。
担当教員	北山			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	96時間	単位数	3単位	到達目標 Illustrator、Photoshopなどのグラフィックソフトの基本操作の習得。 ジュエリーデザインに必要な基本的な知識、方法を学び、確実に仕上げることを目標とする。
開講期間	2018.4.1～2019.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	デザイン造形実習 I-1(デザイントレーニング1) 内容 PCによるジュエリーデザイン 近代デザイン史 PhotoshopとIllustrator基本操作			
	デザイン造形実習 I-2(デザイントレーニング2) 内容 靴のデッサン(JM連動課題) トレンド分析 ターゲットに向けたジュエリーデザイン			
	デザイン造形実習 I-3(ポートフォリオ) 内容 ポートフォリオ講義 エディトリアルデザイン プレゼンテーションボード制作			
履修上の注意事項	市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適なデザインを選択し、完成させることが重要である			
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	宝石学			授業のねらい  宝石に関する全般的な基礎知識(流通用語、耐久性と物理的特性、輝きと光学的特性、処理や合成など)を幅広く習得していく。
担当教員	喜多			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	32時間	単位数	1単位	到達目標  広く知られた宝石の名称とその特徴を知識として確実に覚えることを目標とする。
開講期間	2018.4.1~2019.3			
授業形態	講義			
備考	実務経験有=喜多(宝石鑑定士)			
授業の計画展開	宝石学 I (宝石学) 内容 宝石学における、カラーストーンの基礎知識の習得			
履修上の注意事項	カラーストーンの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率であることが重要である。			
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	コンピューター演習			授業のねらい  CADソフト「ライノセラス」の操作方法の基礎を習得していく。 □□
担当教員	船越、加藤			
対象学年	1年			
単位区分	必修			
授業時数	80時間	単位数	1単位	到達目標  CADソフト「ライノセラス」を使って、基本的なジュエリーデザインの□□  データを仕上げることを目標とする。
開講期間	2019.6.22～2019.2.1			
授業形態	演習			
備考	実務経験有 ＝船越(ジュエリーデザイナー)、 加藤(企業内デザイナー)			
授業の計画展開	コンピューター演習 I-1(ライノセラスによるCADソフト実習)  内容                   ライノセラス基本操作の習得			
履修上の注意事項	CADソフトで作成したデータは、造形及び仕上げ加工が可能な精度であることが求められる。			
評価方法	1.課題作品:造形力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			



授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	メーキング基礎実習Ⅱ		授業のねらい
担当教員	田中、東、江原		1年次で学んだ宝飾技法に基づき、ジュエリー業界における商品量産の知識、加工方法の習得していく。
対象学年	2年		
必修選択の別	必修		
授業時数	312時間	単位数 10単位	
開講期間	2019.4.1～2020.3		到達目標  新たな加工法と知識の習得に基づき、着実に作品を仕上げることを目標とする。
授業形態	実習		
備考	実務経験有=田中、東、江原(ジュエリーブランドオーナー)		
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅱ-1(量産) 内容 量産リング仕上げ、サイズ直し、磨き、石留め メーキング基礎実習Ⅱ-2(腕、石座) 内容 腕製作(V字、ツイスト、抱き合わせ) 石座製作(ラウンド、ペアシェイプ、マーキース、エメラルド) メーキング基礎実習Ⅱ-3(プラチナペンダント) 内容 プラチナ素材を使用したペンダント製作 メーキング基礎実習Ⅱ-4(Tバー、フック、クラスプ) 内容 留め金具の構造理解、製作 メーキング基礎実習Ⅱ-5(割り爪石留めピアス) 内容 割り爪(ティファニーセッティング)の石座製作 メーキング基礎実習Ⅱ-6(擦り出し石座リング) 内容 すり出し石座製作 メーキング基礎実習Ⅱ-7(ミル打ちイヤリング) 内容 ミル打ちペンダント製作		
履修上の注意事項	指定された種類、サイズの石を規定の留め方で石留め出来る事が重要である。		
評価方法	1.課題作品:技術力 2.制作意欲:日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。		
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト		
参考文献	「ジュエリーバイブル」		

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	メーキング造形実習Ⅱ			授業のねらい  1年次で学んだ基礎技法に基づき、ジュエリーの各アイテムにおける金具の扱い方、装着感、重量バランスを習得していく。指定のテーマに基づき各自が作品コンセプトを設定し、宝飾技法を応用した作品制作を習得していく。
担当教員	田中、東、江原			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	432時間	単位数	13単位	到達目標  新たな加工法と知識を学び、各自がテーマを探り制作計画を立て、着実に作品を完成させることを目標とする。
開講期間	2019.4.1～2020.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有=田中、東、江原(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅱ-1(K18石留めリング) 内容 K18加工、石留め及び展開リング制作			
	メーキング造形実習Ⅱ-2(プレスレット) 内容 WAX原型制作、ゴム型、キャスト、仕上げ、及び展開プレスレット制作			
	メーキング造形実習Ⅱ-3(ワックスリング) 内容 WAX原型制作、キャスト、石留め、仕上げ、及び展開リング制作			
	メーキング造形実習Ⅱ-4(セットジュエリー) 内容 リング、ピアス、ペンダント3点で構成されたジュエリー制作			
	メーキング造形実習Ⅱ-5(七宝ペンダント) 内容 七宝を施したペンダント制作			
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である。			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	『ジュエリーバイブル』			



授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	デザイン造形実習Ⅱ		授業のねらい  1年次に学んだ基礎技法に基づき、新たな描写技術を習得し、自身のジュエリーデザインに応用していく。 また、市場動向や指定テーマに基づき、表現を模索し、展開を重ねジュエリーデザインまで繋げる技術を習得していく。	
担当教員	小島、北山			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	248時間	単位数	7単位	到達目標  モチーフの捉え方、表現方法を学び、指定条件から導き出したコンセプトに基づき、宝飾技法を踏まえた実現性のあるジュエリーデザインを完成することを目標とする。
開講期間	2019.4.1～2020.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝小島(企業内デザイナー)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅱ-1(ドローイングトレーニング) 内容 メレの描き方 取り巻きリング			
	デザイン造形実習Ⅱ-2(ブライダルジュエリー企画) 内容 ブライダル市場調査、新商品企画			
	デザイン造形実習Ⅱ-3(リフォームジュエリー) 内容 オーダーメイドジュリー、ロールプレイング			
	デザイン造形実習Ⅱ-4(プレゼンテーション) 内容 市場動向にあわせたK18リングデザイン プレゼンテーションボード制作			
	デザイン造形実習Ⅱ-5(プレゼンテーション2) 内容 企画書の制作方法			
	デザイン造形実習Ⅱ-6(ブライダルジュエリーデザイン) 内容 セットジュエリーデザイン ジュエリーブランド研究 ショップリサーチレポート			
履修上の注意事項	市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適な提案とデザインを選択し、完成出来ることが重要である。			
評価方法	1.課題作品:描写力・展開力 2.制作意欲:制作意欲:探究心・受講態度、出席状況による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 ジュエリープロダクトコース

科目名	コンピューター演習			授業のねらい  CADソフト「ライノゴールド」の操作方法の基礎を習得していく。
担当教員	船越			
対象学年	2年			
単位区分	必修			
授業時数	40時間	単位数	1単位	到達目標  CADソフト「ライノゴールド」を使って、基本的なジュエリーデザインの□□データを仕上げ、実際に造形することを目標とする。
開講期間	2019.9.14～2019.11.30			
授業形態	演習			
備考	実務経験有＝船越(ジュエリーデザイナー)			
授業の計画展開	コンピューター演習Ⅱ-1(CAD造形)			
	内容	ライノゴールドの基本操作習得 制作データから造形機によるワックス原型制作		
履修上の注意事項	CADソフトで作成したデータは、造形及び仕上げ加工が可能な精度であることが重要である。			
評価方法	1.課題作品:造形力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			